

蕨10 広報WARABI

2026/令和8年
わらび・917

- 令和8年10月1日発行／発行所・蕨市役所
- 9月1日現在人口：77,671人 前月比 -79人
世帯数：43,644 人口密度：15,199人／km²
- 蕨市の面積 5.11km²



～今月の特集～

- アートって楽しい！……………2
- わらび市政スポット……………4



スマイラ・ハートアート

先月8日、スマイラ松原で「点で遊ぶ」をコンセプトに作品を制作。点が足される度に、会場からは歓声が上がりました。

特集

アートって 楽しい！





▲中央小学校4年生の児童と蕨市美術連盟の皆さん

アートって楽しい！

芸術の秋を迎え、市内では活発に芸術活動が行われています。ここでは、表紙に引き続き、スマイラ・ハートアートの様子と、中央小学校の巨大アート制作、市の芸術・文化振興の取組をご紹介します。

市

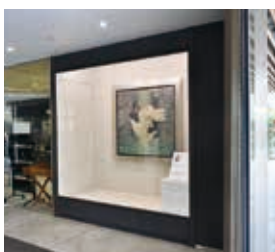
では文化の薫り豊かな蕨のまちづくりとして、

文化祭や公募美術展覧会（以下「市展」）の開催や、市役所エントランスギャラリーの設置など、市民が芸術・文化を鑑賞できる機会を増やす取組を行っています（詳細下枠）。

市内の芸術活動も、秋の深まりとともに活発になっていきます。先月8日には、国内外で活躍する画家の智内兄助さんが、障害のある人を支援するスマイラ松原の通所者の皆さんと作品を制作するスマイラ・ハートアートを実施しました。「点で遊ぶ」をテーマに、縦1.7メートル、横3.6メートルの金屏風に、猫じゃらしや丸めたタオル、ボクシンググローブなどを使い、小ささまざまな点を表現。点が打たれる度に、会場からは拍手や応援の声が上がリ、心温かなひとときとなりました。

足も使って、縦3メートル、横6メートルの画用紙いっぱい個性を表現した児童たち。「何を描けばいいか迷っていたけれど、やっていくうちにどんどん描きたいものが思い浮かんできて、楽しかった」と、忘れられない思い出になりました。

市役所エントランスギャラリー



市役所正面入口には、蕨にゆかりのある芸術家の作品を月替わりで展示しています。今月は市展の審査員を務める画家の斎藤祐子さんの作品を展示。※写真は先月の様子。



▲巨大アート制作中の様子

Interview



蕨市文化協会会長
蕨市美術連盟会長
智内 兄助 さん

誰もがアーティスト

スマイラ・ハートアートでは、体がかつてに動いたようなストレートな表現がうれしかったです。通所者の皆さんと心が通じ合った感覚があり、絵画的な要素を入れられたので、空間の響きが良い作品になりました。中央小の巨大アートでは、クラスメイトの意外な一面や、新たな交流が見られたと思います。巨大アートの楽しい思い出が将来アートに触れるきっかけになったらいですね。どちらの作品もアートの原点と言える身体的な表現にあふれ、作品を見たら、元気づけられますよ。市展で展示しますので、ぜひ、見に来てください。

～市役所でも作品を展示～

スマイラ・ハートアートと巨大アートは市展の他、市役所でも展示します。また、昨年度の市展の受賞作品も展示します。

中央小学校の巨大アート

19日まで 市役所1階の吹き抜けに展示します



昨年度の市展の受賞作品

19日まで 前年度に受賞した作品を展示します



スマイラ・ハートアート

12月3日～9日 障害者週間に合わせて展示します



いずれも市役所1階 平日の午前8時半～午後5時15分

詳細＝生涯学習スポーツ課 (☎433・7729)

第57回蕨市公募美術展覧会

会期＝11月11日～15日 午前10時～午後4時(15日は3時まで) ところ＝くるる



出品者を募集しています！

対象＝15歳以上の市内在住・在勤・在学者
か小学生以上の蕨市文化協会加盟団体の会員
応募＝絵画・彫刻・工芸は1点、写真・書道は2点以内(未発表の創作物) 搬入＝11月6日の午後5時～7時または7日の午前9時～正午
※入選作品を展示。搬出＝11月15日の午後3時～4時(書道は3時半から)
※募集要項は右記二次元コードから市ホームページを御覧ください。





今月の特集・わらび市政スポットでは、市が取り組んでいる3つの事業についてお伝えします。

ねんりんピック
彩の国さいたま2026
ぽけぽけ! 長寿と笑顔 彩の国

将棋交流大会



11月8日(日)：午前9時45分～午後3時
9日(月)：午前9時15分～午後4時
会場：市民体育館3階アリーナ

・・・ 大会期間中のプログラム ・・・

11月8日

●プロ棋士による指導対局

- 時間 午前9時45分～11時45分
午後1時40分～3時40分
- 対象 どなたでも
- 費用 無料
- 指導棋士 中井 広恵 女流六段(蔵市PR大使)
飯塚 祐紀 八段
黒沢 怜生 六段
- 申し込み 当日先着順

このほか、プロ棋士による、次の一手・詰め将棋の解説、キッチンカー出店など

11月8日・9日 両日実施

●自由対局、健康づくり教室、蔵の特産品販売

1

ねんりんピック 将棋交流大会を来月開催

「ねんりんピック」は、高齢者を中心としたスポーツ、文化、健康と福祉の総合的な祭典で、今年は11月7日から10日まで、埼玉県で初めて開催されます。

蔵市では、8日と9日に60歳以上の全国選抜選手による

将棋交流大会を開催(詳細左枠)。プロ棋士の指導対局や自由対局コーナー、健康づくり教室など、どなたでも参加できるプログラムも盛りだくさん。ぜひ、お越しください。

問い合わせ 健康長寿課
(☎433・7756)

情報ダイヤル

掲載は無料で抽選です(前月未掲載の団体優先)。申し込み＝毎月1日～5日の平日に秘書広報課(☎433・7703)へ

※いただいた情報は、市ホームページにも掲載します。



●仲間になりませんか

▼筆文字アート已書 金・日曜日 月2回 午後1時半 自治会館 2200円(初回1100円)〈藤原・☎090・9848・0918〉

▼蔵市水泳連盟水泳サークル 月曜日 昼の部 午後1時半 夜の部 午後7時半 ルネサンス蔵24〈根岸・☎446・5022〉

▼蔵南フットボールクラブ 土・日曜日・祝日 南小学校3歳小学生 月500円 2000円

〈佐藤・☎sato841022@gmail.com〉

▼北町囲碁クラブ 土曜日 午後0時半 北町公民館 無料〈小林・☎431・3180〉

▼英書を読む会(時事英語) 第2・4土曜日 午前10時 南公民館 無料〈桐谷・☎443・0232〉

▼蔵ラグビースクール 土曜日 午前9時 東小学校 小学生 月1500円 〈小林・☎y.koba rugby@gmail.com〉

▼蔵塚越サッカー 土・日曜日・祝日 東小学校 塚越小学校 年長小学生 月2500円 金

子・☎090・7263・6609

子・☎090・7263・6609

子・☎090・7263・6609

子・☎090・7263・6609

2

「織りなすクーポン」第3弾 利用は今月末まで



織りなすクーポンでお支払い



厳しい物価高騰が続くな
か、全ての家計の応援
と、地域経済の活性化につな
げるため、市独自の対策とし
て、全ての市民に一人700
0円分の暮らし応援券をお届
けする「織りなすクーポン」
第3弾。利用期間は31日まで
となっています。期限を過ぎ
ると利用できなくなるので、
忘れずにご利用ください。
対象は令和8年4月1日時点
で市に住民登録がある人
支給額＝一人当たり7000
円（配布は世帯ごと）
問い合わせ＝商工観光課
（☎433・7750）

声



さかぐち まちこ
坂口 真千子 さん
中央4丁目

うれしいクーポン

三世大家族で買い物も多
く、日頃から物価高騰を感
じるなか、一人7,000円分の
クーポンは助かりますね。
まだ残っているクーポンは、
子どものために使います。

まだクーポンを受け取っていない人へ

クーポンは7月に配送事業者によりお届けし
ましたが、不在や転居により、まだクーポンを
受け取っていない人は、市役所3階の商工観光
課窓口でお渡しします。配送状況の確認やクー
ポンの準備に時間を要する場合がありますので、
事前に商工観光課までご連絡ください。

クーポンの詳
細は市ホーム
ページ▼



3

蕨駅西口エスカレーター 一時使用停止のお知らせ



まちの玄関口を再生する
蕨駅西口再開発事業。
公共公益施設「わらら」や商
業施設、住宅施設が入居する
再開発ビルの建設に加え、今
後、周辺の区画街路工事や駅
前広場の整備が行われます。
事業完了後は、駅コンコー
スと再開発ビルはデッキによ
って直結されます。そのため、
駅舎改修工事に伴い、11月2
日から来年7月頃までの間、
蕨駅西口エスカレーターの使
用ができなくなります。ご理
解とご協力をお願いします。
問い合わせ＝まちづくり課
（☎433・7817）

- ▼蕨書道連盟毛筆学習会 第3
月曜日 午後1時半 中央公民
館他 市内在住の大人 月10
00円（初回15000円）（齋藤・
☎444・8723）
- ▼蕨ガイド会 木曜日 月1回
午前10時 旭町公民館 無料（長
谷川・☎090・4005・4776）
- ▼蕨スポーツ吹矢クラブ 金曜
日 午後1時 西公民館 月5
000円（金子・☎090・54335・
5054）
- ▼わらび錦サッカー 土・日曜
日・祝日 午後2時 西小学校
未就学児・小学生 月1500
（20000円）（未就学児は無料）
（鈴木・☎warabihikisoccer
2026@gmail.com）
- ▼健康体操クラブ 木曜日 午
前10時 下蕨公民館 月200
0円（柳元・☎442・8875）
- 参加しませんか
- ▼親子でハロウィンを楽しもう
25日（日） 午後1時 ねむのき
公園 ハロウィンコンテストな
ど どなたでも 無料（藤野・
☎090・7800・7691）
- ▼隅田川馬石独演会 31日（土）
午後1時半 くるる 落語会
大人2500円・22歳以下15
00円・中学生以下1000円
（わらび寄席・平塚・☎050・180
9・8885）
- ▼蕨断酒会 6日（火）旭町公
民館 9日（金）南公民館 15
日（木）中央公民館 いずれも
午後7時（大住・☎090・274
9・9640）

第12回蕨市民音楽祭開幕

今年の蕨市民音楽祭は8月29日から12月にかけて7日間開催します。先月までに実施した5日間では、市民会館やくるるを会場にクラシックや軽音楽、ジャズのコンサートを開催。訪れた3,515人は音楽に包まれながら、楽しいひとときを過ごしました。(写真は先月4日の「坂田明 SOS Live！」)



まちの話題

ここでは8月下旬から9月中旬までの話題を紹介します
ビデオマークがついている話題はCATVで放映します

自分の思いを英語で主張

市内の中学生が日頃の英語学習の成果を披露するスピーチコンテストが、先月2日に中央公民館で開催されました。15人の代表生徒たちは「暗唱の部」と「弁論の部」に分かれて出場。堂々とした態度で、ときおりジェスチャーを交えながら、感情豊かに自分の思いを英語で表現していました。



日頃の学びの成果を披露

先月4日から6日まで、老人福祉センターけやき荘で「けやき荘まつり」が開かれました。歌やダンスなどのステージ発表の他、書道や絵手紙などの作品展示、お茶会など、同施設の講座やクラブの皆さんが日頃の活動成果を発表。3日間で延べ330人が参加し、利用者同士の交流を深めました。



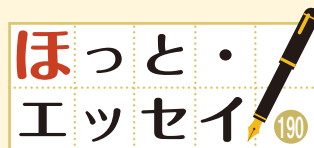
「ハローわらび」10月の番組表

市からのお知らせ・地域の話題などをお送りします

放送時間は、毎日午前9時・正午・午後3時・6時・9時からそれぞれ45分間です。

	10/2(金)～8(木)	9(金)～15(木)	16(金)～22(木)	23(金)～29(木)	30(金)～11/5(木)
00	市政ガイド わらび市政ほっとNews	市政ガイド 織りなすクーポンの ご利用はお済みですか	タウンタウン 大人の塗り絵	市政ガイド わらび市政ほっとNews	タウンタウン 交流プラザさくらまつり
05	タウンタウンワイド	タウンタウンワイド	子どもを幸せにする 魔法の食習慣	タウンタウン フレンチ教室	鍵盤ハーモニカワーク
10	親子でハッピーヨガ 心を育てる脳音リトミック	お年寄りを敬う会 ゲートキーパー講座	特集・ウィークリープラス	特集・ウィークリープラス	蕨市政なう！
15	つかプーフィッシング 釣り方教室	くるみ保育園の お団子づくり	錦町・塚越・下蕨・中央地区 生涯学習フェスティバル	社会を明るくする運動	豊かな心育む 芸術・文化のまちづくり
20	特集・ウィークリープラス スマイラ・ハートアート &中央小の巨大アート	安全安心なまちづくり 進めましょう！ 災害への備え		安全安心なまちづくり 市民の健康を支える 市立病院	探れたてスポット 地域の話題が盛りだくさん
30	知って得する暮らしの情報	知って得する暮らしの情報	知って得する暮らしの情報	知って得する暮らしの情報	知って得する暮らしの情報

「ハローわらび」DVD／放送終了後から貸し出します 無料 詳細・貸し出し場所＝秘書広報課 (☎433・7703)



救急受入体制の強化などで 経営改革が進む蕨市立病院

市長 頼高 英雄

物価高騰などの影響で、全国的に多くの病院が赤字経営を余儀なくされるなか、市立病院でも、昨年度、初めて基準外の補助金が必要となる厳しい状況となりましたが、将来にわたり、市民の命と健康を守る地域の中核病院としての役割を果たすため、現在、経営改革の取組を進めています。まずは、断らない医療を理念に救急受入体制の強化を図り、8月末時点で、救急車の

受入件数は、昨年度の318件から664件へ2倍以上に、受入率も54・2%から91・2%に大幅に上昇し、また、産婦人科の充実も図り、1日平均の入院患者数は80人から98人に大きく改善しています。外来でも、午後診療の拡充や膝関節専門外来、物忘れ外来の開設など医療サービスの充実を図り、外来患者数も着実に増加するなど、経営状況を大きく改善させています。

熊本地震をはじめ、全国各地で地震が多発していますが、市立病院では、今後とも、地域の中核病院としての機能を充実させながら、経営改革を更に進め、耐震化・老朽化対策として必要な建替え事業も着実に進めていく考えです。

市民と市長の面会日

面会日は毎月第1木曜日。今月は1日です。11月は5日です。時間は午後1時～5時を予定しています。

ご希望のかたは秘書広報課（☎433・7701）へご連絡を。



心と体を育むリトミック

先月15日、北町公民館の家庭教育学級「ハロ北会」でリトミックが行われました。先生のピアノに合わせた手遊びや歌の他、読み聞かせやビーズを使ったマラカス作りなど、楽しい遊びが盛りだくさん。参加した親子8組は、音楽に合わせて体を動かし、笑顔で触れ合いと交流を深めていました。

さく 朔空ちゃん（3歳4か月）

まつむら しょうた 松村 彰太さん
はるな 春奈さんの 二男
中央6丁目



わが家のアイドル

-654-

「元氣いっぱいでしたっけ。者な朔空。2歳年上の兄の葵生のすることを何でもまねして、できることが少しずつ増えてきました。はみ出した下着をピシッとズボンにしまつて着たり、転んでも泣かずに立ち上がったります姿に、日々成長を感じます。これからもかわいらしさはそのままに、たくさんのお話を経験しながら、たくましく育ってほしいですね」と母親の春奈さん。



熊本地震募金を被災地へ

市は令和8年熊本地震の被災地支援のため、公共施設に災害義援金の募金箱を設置するとともに、蕨駅で2回の街頭募金を実施しました。寄せられた236万967円の義援金は、全額を日本赤十字社を通じて送金しました。ご協力ありがとうございました。



染め物の楽しさを笑顔で語る石塚さん

輝いています

ひと

染めクラブ「ラベンダー」代表

いしづか 石塚 よしこ さん

染める楽しさを次の世代へ

染

め方や使う染料によって、さまざまな色や模様を生み出せる染め物。染めクラブ「ラベンダー」の代表の石塚よし子さん（北町4丁目）は、その奥深さに魅せられて、染める楽しさを地域の子どもたちに伝えていきます。

染め物との出会いは、約35年前。広報で見た歴史民俗資料館での染め物体験講座でした。初めて染めた布にできたきれいな模様に心奪われ、しだいに夢中になっていきました。「いろんな染め方があるから、飽きないんです」と石塚さん。縛る、縫う、型を使うなど、工夫しだいで表現が広がり、自分だけの作品に仕上がるのが染め物の魅力。現

在は月に一回、同館でクラブの仲間とアイデアを出し合いながら、藍染めや草木染めでの作品作りを楽しんでいます。

そんな石塚さんが長年の経験を地域に生かそうと力を入れてるのが、歴史民俗資料館や市内の公民館で毎年行っている子ども向け体験講座です。身の周りに既製品があふれ、手作りする機会が少なくなるなか、若い世代に自分の手で物を生み出す喜びを知ってもらおうと、染め物に触れる場を作り続けています。講座では、子どもたち自身が考え、それぞれの発想で模様を作る時間をたいせつにしています。「大人が思いつかないようなすてきな模様を作ることもあるんです」と石塚さん。

完成したときのうれしそうな表情を見る度、こうした経験により多くの子に届けたいという思いを強くしています。

来月3日の宿場まつりでは、歴史民俗資料館の前でクラブのブースを出します。「実際に手に取って、染め物ならではの色や風合いを感じてください」。染め物の文化がこれからも続いてほしい――。石塚さんの思いは色あせず、次の世代に広がっていくでしょう。

今月の河鍋晩斎記念美術館

天才絵師の作品 蔵にあり

—No.125—



晩斎筆「人物動態 足踏み（左）、刀を振る（右）」
紙本墨画、朱 画稿

体の動きを墨で描き、その上から朱色で着物の流れを描いています。江戸時代の絵師・円山応挙（おうきやう）にも用いていたこの描き方を、晩年に出版した自画伝『晩斎画談』の中で「着服図法」と名付け、晩斎が実際に描いたのが本図です。

本図の左側の人物は、左足を高く上げています。右側の人物

は刀を後ろに大きく反らせ、足を踏み込んでいます。

晩斎の描く人物がいきいきと動いているように見えるのは、人体の構造を的確に把握しているからだということが、よく分かる作品です。

yosai
Kawanabe

現在の茨城県古河市に生まれる。浮世絵や狩野派を学び、江戸・東京の庶民から人気を博す。明治9年、万国博覧会に肉筆画を出品。14年、内国勸業博覧会で日本画の最高賞受賞。娘の晩翠も日本画家。



かわなべ きょうさい
河鍋 晩斎
天保2年（1831）
～明治22年（1889）

河鍋晩斎記念美術館 開催中（25日まで）

企画展「晩斎・晩翠 人物を描く」展

同時開催 特別展「晩斎が絵本・挿絵に描いた動物画展」

開 館＝午前10時～午後4時

ところ＝南町4-36-4

休 館＝火・木曜日（祝日除く）、
毎月26日～末日

入館料＝一般600円 高校生・大学生500円
小・中学生300円 65歳以上500円

※学生は学生証、65歳以上は年齢の分かる物をご提示ください。

詳 細＝同館（☎441・9780）



詳しい内容は
美術館のホーム
ページを御
覧ください